



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月5日  
東

上場会社名 丸紅建材リース株式会社 上場取引所  
 コード番号 9763 URL http://www.mcml-maruken.com  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 栗山 章司  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名) 梶谷 誠 (TEL) 03(5404)8200  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	15,386	△4.2	499	△35.6	765	△27.8	586	△27.8
2019年3月期第3四半期	16,057	1.6	775	37.9	1,060	15.8	811	9.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 623百万円(△18.9%) 2019年3月期第3四半期 768百万円(△6.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	175.88	—
2019年3月期第3四半期	243.43	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	33,027	13,630	41.3
2019年3月期	32,503	13,207	40.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 13,630百万円 2019年3月期 13,207百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	2.00	—	60.00	—
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注1) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2019年3月期中間配当金2.00円は創立50周年記念配当であります。

(注3) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。2019年3月期の1株当たり中間配当金は当該株式併合前の金額を記載し、年間配当金合計は「—」としております。株式併合を考慮した場合の1株当たり中間配当金は20.00円、1株当たり年間配当金は80.00円となります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,900	0.2	730	△20.1	1,150	△14.0	870	△14.4	261.01

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	3,429,440株	2019年3月期	3,429,440株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	96,352株	2019年3月期	96,211株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	3,333,212株	2019年3月期3Q	3,333,539株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)におけるわが国経済は、企業収益や設備投資に一部弱い動きが見られるものの、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな回復で推移しました。一方、通商問題を巡る動向や中国経済の先行き等、海外経済の減速リスクによる影響が懸念されています。

当社グループが属する建設業界におきましては、首都圏での大型プロジェクトを中心に建設需要は底堅く推移したものの、労働力不足が常態化し、鋼材価格・運送費等のコスト上昇の影響が続きました。

このような環境下、当社グループの当第3四半期の業績は、売上高153億86百万円(前年同期比6億71百万円、4.2%減)、営業利益4億99百万円(同2億75百万円、35.6%減)、経常利益7億65百万円(同2億94百万円、27.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億86百万円(同2億25百万円、27.8%減)と前年同期比で減収減益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## ① 重仮設事業

賃貸稼働量・販売量が前年比で減少となり、売上高は123億39百万円(前年同期比6億68百万円、5.1%減)、セグメント利益はコスト上昇による収益の圧迫を受け、8億94百万円(同2億81百万円、23.9%減)となりました。

## ② 重仮設工事業

受注済みの工事案件の進捗遅れ等により売上高は18億68百万円(同1億33百万円、6.6%減)となりましたが、一部案件で利益率が改善したため、セグメント利益は85百万円(同0百万円、0.6%増)となりました。

## ③ 土木・上下水道施設工事等事業

利益率の低い大型工事案件の進捗が進んだことにより、売上高は11億78百万円(同1億30百万円、12.5%増)となりましたが、セグメント利益は31百万円(同32百万円、50.7%減)となりました。

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の増加額11億30百万円、商品の増加額1億36百万円と、受取手形及び売掛金の減少額10億26百万円などにより、前期末比5億23百万円増の330億27百万円となりました。

負債合計は、借入金の増加額16億35百万円と支払手形及び買掛金の減少額15億45百万円などにより、前期末比1億円増の193億96百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益5億86百万円の計上による増加と配当金1億99百万円の支払による減少などにより、前期末比4億23百万円増の136億30百万円となり、自己資本比率は0.7ポイント増の41.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は期初予想通り進捗しており、現時点において、2019年5月10日公表の2020年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

なお、当社は2019年12月4日公表の「中国における新規合弁事業展開について」に記載のとおり、中国での重仮設事業を行うことを目的に2020年3月頃を目途に新会社(瑞馬丸建(安徽)工程支護科技有限公司)の設立手続きを進めております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	665	1,796
受取手形及び売掛金	6,606	5,579
電子記録債権	2,197	2,000
建設機材	10,203	10,170
商品	481	617
材料貯蔵品	261	258
未成工事支出金	101	212
その他	182	199
貸倒引当金	△59	△41
流動資産合計	20,640	20,794
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,027	8,027
その他(純額)	1,007	1,116
有形固定資産合計	9,034	9,144
無形固定資産	10	12
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	115	132
その他	2,722	2,970
貸倒引当金	△20	△27
投資その他の資産合計	2,817	3,075
固定資産合計	11,863	12,232
資産合計	32,503	33,027

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,086	5,540
電子記録債務	1,247	1,622
短期借入金	2,700	3,700
1年内返済予定の長期借入金	1,670	1,680
未払法人税等	204	8
引当金	249	151
その他	1,695	1,547
流動負債合計	14,853	14,251
固定負債		
長期借入金	3,395	4,020
退職給付に係る負債	26	24
その他	1,021	1,101
固定負債合計	4,443	5,145
負債合計	19,296	19,396
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	7,555	7,942
自己株式	△136	△136
株主資本合計	10,995	11,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	263	277
土地再評価差額金	1,975	1,975
為替換算調整勘定	△57	△34
退職給付に係る調整累計額	29	29
その他の包括利益累計額合計	2,211	2,248
純資産合計	13,207	13,630
負債純資産合計	32,503	33,027

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	16,057	15,386
売上原価	13,537	13,222
売上総利益	2,520	2,163
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	744	740
福利厚生費	194	180
地代家賃	133	133
退職給付費用	16	11
貸倒引当金繰入額	16	0
賞与引当金繰入額	220	194
その他	418	402
販売費及び一般管理費合計	1,744	1,663
営業利益	775	499
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	20	24
持分法による投資利益	258	237
その他	53	53
営業外収益合計	332	315
営業外費用		
支払利息	36	36
その他	9	12
営業外費用合計	46	49
経常利益	1,060	765
税金等調整前四半期純利益	1,060	765
法人税、住民税及び事業税	189	133
法人税等調整額	60	46
法人税等合計	249	179
四半期純利益	811	586
親会社株主に帰属する四半期純利益	811	586

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	811	586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50	13
退職給付に係る調整額	2	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	4	24
その他の包括利益合計	△42	37
四半期包括利益	768	623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	768	623



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,008	2,001	1,047	16,057	—	16,057
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	13,008	2,001	1,047	16,057	—	16,057
セグメント利益	1,175	85	64	1,325	△549	775

(注) 1 セグメント利益の調整額△549百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,339	1,868	1,178	15,386	—	15,386
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,339	1,868	1,178	15,386	—	15,386
セグメント利益	894	85	31	1,011	△511	499

(注) 1 セグメント利益の調整額△511百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。